

関係者各位

起動準備中の関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

特別監視チーム及び関西電力から、本日(6/29)12時39分、大飯発電所3号機の中央制御室で、一次冷却材ポンプ電動機の軸受冷却水の流量が低下した旨の警報が発生しましたが、12時40分、警報は消灯しました。

また、13時09分、13時37分にも、一次冷却材ポンプ電動機等の冷却水の流量が一時的に低下した旨の警報が発生しています。

一次冷却材ポンプ等の運転状態を確認しましたが、異常はなく運転を継続しています。また、冷却水の漏えいもありません。

原因は、原子炉の昇温操作に伴い、関連各機器の冷却水の使用量が増加したために、当該軸受冷却水等の流量が相対的に減少したため、警報が発生したと考えられます。

今後、各機器の温度上昇に合わせ、冷却水の流量を適切な量に調整する予定です。

本事象による外部への放射性物質による影響、作業員等の被ばくはありません。また、起動プロセスへの影響はなく、計画通り起動作業を進めても、安全上の問題はありません。

以上